



追分地区

晩秋を迎えた丘陵地の風景

10月16日、追分地区で『晩秋の絶景でランチを楽しむあびらゆったりフットパス』が開催されました。安平町に来てから3年連続同じ時期に同じ場所を歩いています。

イベントでしか立ち入ることができない個人所有の「大展望」。小高い丘の上からは360度のパノラマで追分地区を見渡すことができ、他では見ることができない特別な景色が楽しめます。

出発時は青空でしたが、大展望に到着すると生憎の曇り空。いつもなら見える支笏湖周辺の山々もぼんやり。晴れると増毛方面の山々が見えることもあるそう。残念ながら紅葉は見頃ではなかったですが、安平町旭陽牧場に牛が放牧されている様子を見ることができました。

徐々に気温が下がり、氷点下となる日も増え、冬へのカウントダウンが始まっています。色づいた葉っぱがすでに落ち始めているところもあり、木々たちはすでに冬支度を始めているようです。

【撮影・文／

地域おこし協力隊 木下】

ジュンベリーの紅葉

地域おこし協力隊 木下 知佳



広報あびら6月号の『編集者コラム』で掲載した、遠浅地区に咲く「ジュンベリー」。残念ながら可憐な花が満開となった白いトンネルの写真が掲載できませんでした。その様子を再び見に行ってみることに。

赤くなると思っていた葉っぱは、黄色やオレンジに色づいてましたー風の強い日があったため、少し葉っぱが落ちたようですが、広報制作のタイミングでなんとか撮影でき、皆さんにご覧いただけてよかったです。

広報あびら 編集者コラム vol.30



安平町で動き出した新しい産業・文化「ワイン」

総務課情報グループ 小林 誠

産業や文化が育っていくのを初期のころから見ていることはできないと思うので、貴重な取材機会をいただけたなと思っています。とは言え、この一回だけではまだワイン作りのお話を伝えきれないもので、またこういう特集を組んでみたいところ。いろんな人に興味を持ってもらえるような情報を取材し、お伝えしていけたら良いなと思っています。

数字で見ると、ワインの生産量やワイナリーが多いのは、山梨県・長野県に次いで北海道が第3位だそうです。道内にもいくつかの産地などありますが、どこでもできる産業ではないので、今後の動きが楽しみです。

